



部位 外壁

外壁の触診写真です。  
表面を指で擦ると白い粉のようなものが多く付着します。  
この現象はチョーキング現象といい仕上げ塗膜の劣化を示しています。  
現在のチョーキングの進行具合から既存塗膜の保護機能はほぼ失われていると予想されます。



部位 軒裏

バルコニー裏の写真です。  
苔やカビの付着に加え上部からの漏水と思われるシミが確認できます。  
進行するとコンクリート内部の鉄筋の酸化膨張につながり最悪の場合  
コンクリートが剥落し鉄筋がむき出しになる（露筋）につながる  
恐れがあります。



部位 屋根

屋根の写真です。  
目視で確認できる屋根のカラーベストが苔やカビの付着により茶色く  
変色しています。又、チョーキングが原因と思われる色あせも見られます。  
苔が付着するとその部分に水分が滞留しカラーベスト素地の劣化を  
進行させる原因となります。